

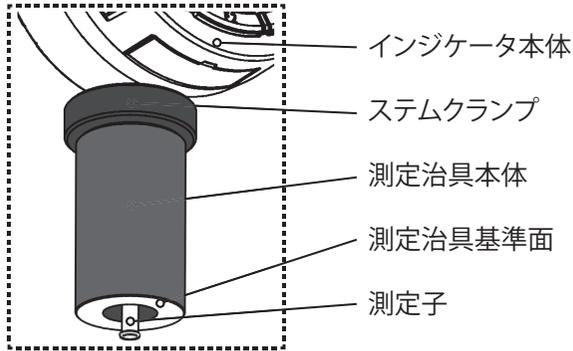
皿ザグリ深さ測定器 取扱説明書

はじめに

インジケータ本体のお取り扱いには同封のインジケータの取扱説明書をよくお読み下さい。また、万一弊社の製造販売に起因する不具合が発生した場合、購入先までご連絡ください。

各部名称

※種類により形状が多少異なる場合があります



電源を入れるにはF3キーを押します。
電源を切るにはF3キーを長押し(2秒)します。

設定

1【測定原点の設定とプリセットの確認】(右上図参照)

- 1.1 治具の底面にホコリや汚れがないように注意して、マスターゲージのプリセット値が刻印された部分と、治具の基準面を密着させます。
- 1.2 基準面を密着させたまま、測定子を測定したい交点に密着させるために、測定器を横にスライドさせます。測定子が側面にしっかりと密着するまで力を加えることで、測定子が摺動して交点の深さが測定できます。
- 1.3 1.2の状態でもF2キーを押して、プリセット値を登録します。
- 1.4 測定子は側面から一度離して、もう一度基準面を密着させたまま測定子を横にスライドさせて、測定子が側面にしっかりと密着した時に測定値がマスターゲージに刻印された数値と一致していればプリセットの確認は完了です。

2【その他機能】

※詳細はインジケータ本体の取扱説明書の各項目を参照して下さい。

- 公差判定機能の設定
- 誤操作防止のために演算機能、カウント方向の選択は設定操作をロックしてあります。

△電池交換後は再度プリセット値の登録が必要です。

保守・点検

1【マスターゲージで日常点検】

マスターゲージには弊社で検査した際の実測値を刻印しています。全設定値を入力した皿ザグリ深さ測定器を側面に密着させて、刻印の値と近似の測定値が表示されれば、正確な測定ができています。

☆重要:本製品で測定の際には、出来るだけ付属のマスターゲージで測定値を確認してから測定を推奨しております。

△注意

過剰な力を加えて密着させることは測定誤差の原因となります。

2【電池交換】

電池の消耗などにより電池の交換が必要になった場合、付属のオープナーを用いて本体下部の電池ホルダーを開けて電池を交換してください。(CR2032 リチウム電池使用)

△電池交換後は再度プリセット値の登録が必要です。

皿ザグリ深さ測定器の仕様

型式	PC-φ3-R0.4
精度	±0.010
測定範囲	0.2~4.5

製品保証について

治具を分解した場合など保証できないこともございますので、ご了承ください。治具の基準面の再研磨やインジケータ・測定子の交換等は、弊社にご相談下さい。

製造元

〒596-0842 大阪府 岸和田市 真上町 241
株式会社 ファム
TEL:072-427-1000(代表) FAX:072-427-3000
Web: <http://www.fam1.co.jp/> Email: fam@fam1.co.jp



1.2項の詳細説明図

